

教育実践交流会ニュース 91号

2024年5月8日（水）

神奈川私教連 教文部

2024年度第2回教育実践交流会（通算第63回）

開催のお知らせ

先日は第1回教育実践交流会にご参加頂き有難うございました。大ベテランである大庭先生のお話は一言一言に重み、金言が散りばめられていたのではないでしょうか？

《参加者の感想》

●本日はありがとうございました。教育に歴史あり。だなと感じました。

暴力で暴力は抑えられず、感情優位では無く論理的に児童生徒のことを第一に考えて教育を行うことこそがいいのだと改めて実感できました。

生徒指導を行なっていく上で大事な観点についても考えさせられました。

教師集団は社会に晒されるというのが印象的でした。だからこそ組合活動もそうですし、保護者との共同を持って協力体制を持って教育にあたっていくのが大事なんだと思いました。

改めてありがとうございました。

●大庭先生の歴史を聞くことができて感無量です。教師は理想を語り、現実を語るのはバカだという言葉が非常に響きました。どれだけ子供達と共に理想を作っていくか、辿り着くことができなかつたとしても、どれだけ近づくことができるのか、それが非常に必要だと再度実感しました。日々の忙しさにかまけて目の前のことばかりに囚われがちですが、土台に教師としての理想があることを忘れてはいけないことを今回実践で学ばせて頂きました。今後も、社会科の大先輩として、授業実践や研究、生徒指導論についても聞いていきたいです。大庭先生、よろしくお願ひします！！

さて、次回の教育実践交流会ですが5月24日（金）19時～、レポーターは湘南白百合学園中高の藤本公俊さん、テーマは「課外活動の可能性を探る」です。大学を含めた様々な機関とつながり、課外講座を作り上げた藤本さんの報告となります。学外と連携することで見えてくる学校の立ち位置などを参加者の皆さんと対話できることを期待しています。

なお、引き続き現地で参加をお願いするところではありますが、様々な事情もあるかと思います。Zoomでの参加を希望される場合は、以下の私教連アドレスに連絡、メールアドレスの登録をお願いします。

私教連アドレス：honbu@k-sikyoren.or.jp

文責：神奈川私教連教文担当 藤本公俊、相田一郎